

四・五月の行事・風習



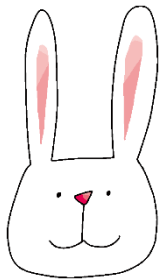
その季節になると何とはなしにイベントに参加してみたり、意識して生活してみたりする行事や風習ってたくさんありますよね。

🌸 今回は四・五月にある、**行事や風習**について簡単にまとめてみました！



<日本> 花見

奈良時代の貴族が始めたという説が有力。平安時代には梅から桜に変わっていたそう。日本で長く愛されている。



<世界> イースター(復活祭)

キリストが亡くなった日から3日目の日曜日に復活したことをお祝いする。

卵は生命の象徴、うさぎはそれを運ぶそう。



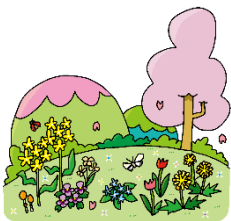
<日本> 端午の節句

「こどもの日」として広く知られる。もとは女性の節句だったが江戸時代に変化した。



<世界> 五月祭(メーデー)

ヨーロッパ各地で行われる春を祝うお祭り。前夜祭として「ヴァルプルギスの夜」という儀式を行うところも。



(ティーンズスタッフ：ユーリカ)

～中高生むけ図書館だより～

OWL NEWS

Vol.

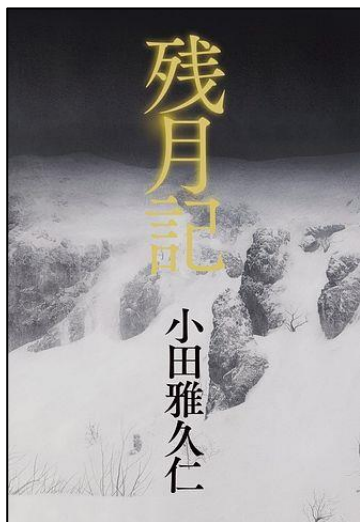
27



(ティーンズスタッフ：深緑)

2023. 春号 (2023. 4月 発行)

わたしたちのおすすめ本



『残月記』

小田雅久仁／著（双葉社）



"月昴"という流行病に感染し、他人から差別・隔離される中で懸命に生きる男女の姿が描かれている作品です。

月がこれ程恐ろしいものだと感じたのは初めて、と思うぐらい真に迫った怖さのある物語で、SF好きには是非読んでいただきたいです！

(ティーンズスタッフ：まふらぶ)



『ブラタモリ | 長崎 金沢 鎌倉』

NHK「ブラタモリ」制作班／監修（KADOKAWA）

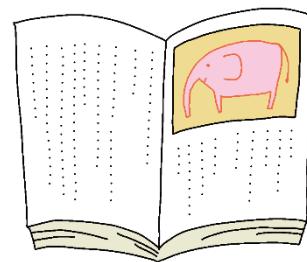
NHKで放送されている人気街歩き番組「ブラタモリ」の書籍版です！

この第1巻では長崎についても紹介されています。

番組本編では語りきれなかったエピソードやロケの撮影風景の写真などもあり、テレビで見るのとはまた違った面白さがあります。

私たちの住む長崎の新たな魅力が発見できる1冊！！

(ティーンズスタッフ：宙)



『愛じゃないならこれは何』
斜線堂有紀／著（集英社）



人気アイドルがファンへのストーカー行為で逮捕されたら、どんな結末が待っているのだろうか。

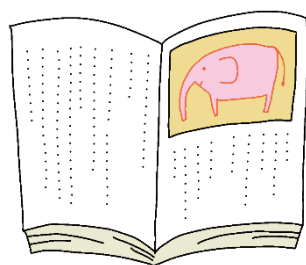
鳴かず飛ばずのアイドルだった私を最初に推してくれた"めるすけ"、私に初めて目を向けてくれたファン。あの時は本当にただそれだけの存在だったのに。ファンは、アイドルのことを余すところなく上から下まで見ているのに、私たちは驚くほど自分が見られていることに無関心だ。

私は、めるすけが残してくれた多くの痕跡をたどってあなたに近づいた。だけどあなたは、アイドルとファンという一線を決して壊すことはない。

「ねぇ、ずっと言っていたのに。」

「いい加減、私を見ろ！」

(ティーンズスタッフ：よしみ)



『別冊 図書館戦争Ⅰ』

有川浩／著（KADOKAWA）角川文庫



シリーズ4作目である『図書館革命』の最終話からエピローグまでの空白の時間を補完する、本編とはまた違った恋愛要素マシマシなスピナウト第1弾。

堂上と郁の恋の行方は…！？

(ティーンズスタッフ：加密列)

